

2024 年 6 月 29 日(土) 夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

テーマ『統一行』

「私たち人類が本来何者であるか」を思い出す行のひとつに、五井先生の柏手と霊笛による統一行があります。（※言霊が入る場合もある）神仏のお働きとして観たときの『柏手』は、峻厳なる愛の顕われであるといえます。同じ観点から観た場合の『霊笛』は、柔和なる愛の表われだといえます。

そのどちらもが、五感に感じる事が出来る『神聖波動』の顕われでありまして、私たちが柏手と霊笛を聞きながら、世界平和の祈りを祈っているとき、私たちの精神と肉体は、柏手や霊笛として顕現された神聖波動の響きによって、浄めと癒やしの波動に包まれながら、知らない間に、内在する神聖が引き出されてまいります。

ですから、五井先生の柏手と霊笛を聞きながら行なう統一行を繰り返してゆくうちに、私たちはいつの間にか、思い込みやこだわり、決め付けや執着といった把われの想いを手放しやすくなってゆきます。そして、日常における種々な体験をとおして、様々な想いが表われてきたときに、「ああ、これが消えてゆく姿なんだ」と気が付きやすくなって、把われの手放し（消えてゆく姿の成就）が簡単に行なえる私たちに変貌してゆきます。

今回は、統一行を中心にしたプログラムを行ないますが、すでに長年、生活のなかに統一行を取り入れ、行なわれている方々に今回お願いしたいことは、五井先生や救世の大光明の側に立ち、神々の峻厳なる愛と柔和なる愛の肉体界への放射の仲立ちをすることです。

日常生活のなかでふだん、あまり統一行を行なわれない方におかれましては、柏手と霊笛を通して五感に響き渡る神聖波動を浴びながら、世界平和の祈りをはじめとした光の言(ことば)、真理の言(ことば)、神聖の言(ことば)を心内に響かせながら、ゆったりとしたご自身の呼吸のリズムに身を任せて、精神と肉体における“いのちの洗濯”の時間としてご参加ください。

今回は、守護霊・守護神とひとつになって行なう統一行の時間を長めに取ることにより、心身の病いや怪我等に癒やしを与えると共に、私たち自身の大いなる神聖を引き出し、日常生活に活かしてゆく助けとなるプログラムを行ないます。

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

2024 年 6 月 29 日(土) 夜 『神聖で繋がり合う日』 初めの話

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。

今夜はメールにも書きましたように、統一行を中心としたプログラムを行ないます。五井先生は『統一』について、次のようにおっしゃっています。

「統一というのはね、新しい人もありますけど、もう無理無理ね、「統一しなきゃなんない、うー」なんてやってんじゃ駄目ですよ。心を開いてゆっくりと、体を伸びやかにして、心も体も投げ出すように、緊張をほどくんです。そうすると本当の統一が出来ますからね。ただ、背筋だけは伸ばしてね、如来印をこう、輪にして組んでね、こちらから口笛が鳴りね、柏手が鳴りするのを、世界平和の祈りをしながら、ジーツと聞いてればいいんです。そうすれば、本当の統一が出来ますからね。統一というのは何かというと、自分の本体の中に入る。神さまのみ心と一つになることが統一ですよ。それでは始めましょう。」

昔々、昭和の終わるか平成の初め頃に、霊界通信シリーズや円盤の本を書かれた長老導師で、五井先生の片腕だった村田正雄さんの統一指導を受けたことがあります。そのときに村田さんは、居並ぶ会員さん達が統一している間を廻り、個別に統一指導を行なわれていました。それは、まるで禅寺で警策を持って坊主の間を廻る指導僧のようでした。

そのときに、私が眼を閉じて統一していると、村田さんは私の顎に手を当てて、頭が少し上を向くように顔を引き上げてくださいました。その後に、肩と背筋に手を当てて、正しい姿勢を保てるように直してくださいました。村田さんがそのときにおっしゃった、正しい統一の姿勢は、今でも私の生きる指針になっています。

それは、「背筋を伸ばし、肩の力を抜いて、顎を軽く引く」というものでした。また、座り方に関しては、足腰が悪くの方は、椅子に座って行なわれても問題ないことはいまでもありませんが、足腰が健康な場合は、結跏趺坐や半跏趺坐のような、お坊さん達がお寺で行なうような座り方ではなく、正座して行なうことを、統一をするときの座り方として勧められていました。

霊界の波動圏に近づいている現代では、正しい座り方も姿勢も、正しい呼吸も意識の用い方も、「守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。」の祈りを繰り返しているうちに、私たちをお護りくださる神々さまを代表して、守護霊様がひらめきや直観として教えてくださいます。

また、「雑念が出たからダメ、雑念が出なかったからよいというものではない」というお話を、皆様もどこかで聞かれたことがあると思いますが、統一の最中に湧き出てくる雑念に関しましては、相手にしないことが一番だと思います。たとえば、どの本だったかは忘れましたが、「雑念だらけの統一でうまく出来なかったなあ」と思った統一を、五井先生が褒めてくださったという体験談もありました。

私は、統一中の雑念に対する向き合い方というのは、日常生活のなかで折にふれて表われる業想念（神聖から離れた“消えてゆく姿の想い”）との向き合い方にも通じるものだと思います。統一の最中に、どんな雑念が出たとしても、それらを相手にせず、世界平和の祈りの言葉や、そのほかの光・真理・神聖の言(ことば)を、ただ淡々と心のなかで唱えつづけておりますと、スーッと澄みきった心持ちがしたり、肉体の感覚を感じなくなったりします。

ここで大切なことは、「私も霊的に見えたり聞えたりしたらいいなあ」という興味本位の想いが出たら、そうした想いをことごとく消えてゆく姿として守護霊様に預け、霊的な経験はすぐに忘れ、そうした状況に引っ掛からない、把われないように努めることです。

五井先生は、「私はあなた方を霊媒のような存在に育てたくはない」とか、「心が神のみ心とピッタリひとつになることが先決で、霊的な力は必要があれば後から付いてくる」とおっしゃって、霊能力に興味を持つ心境にとどまることを厳に戒められていました。

それは、五井先生が斎藤秀雄長老にお話しされた“仏教の六神通に関するお話”のなかで、さらに具体的に言及されています。斎藤さんが五井先生に、「五井先生、私は先生から理屈ではなく祈ることが大切だと教えられたので、祈りのグループをつくって、一生懸命に祈り、統一をつづけてまいりました

が、村田さんやほかの方々のように、見えたり聞えたりしたことは一度もありません、私のような者は、素質のない人間なのではないでしょうか？」というようなことを尋ねられたときに、五井先生はこう答えられました。

「斎藤さん、村田さん達のような人は、全人類の1パーセントもいない、ごく稀な人達です。見えたり聞えたりしなければ人類が救われなかったのなら、私の使命である地球世界の救済は出来ません。人類の大部分はあなたのように、霊的に見えも聞えもしない当り前の人達なんです。この普通の人達を救えなければ世界平和の達成など到底できません。

あなたは、幸いにも私のいうことを素直に信じて、“消えてゆく姿で世界平和の祈り”を一心に行なっていますね。それが一番大切なことなのです。私の教えは余りにも簡単で、平凡で、しかも分かりやすいので、物足りなく思う人もありますが、うまずたゆまず続けてさえいれば、それが滝を浴びたり、断食をしたりして、肉体をいじめ付けて行なういかなる修行よりも素晴らしい、最高のものであることが分かってくるのです。

この“消えてゆく姿で世界平和の祈り”こそが、役の行者が多く弟子達に教えた“六神通の最高の神通力”といわれている“漏尽通”の通力を得る極意中の極意なのです。

神通力には、他心通（他人の心がすぐ分る）、天足痛（居ながらにしてどこへでも行ける。神足通ともいう）、天眼通（どこの物でも見ようと思えば直ちに見える）、天耳通（どこの内緒話でも聞こうと思えば聞える）、宿命通（過去世の職業や修業が一瞬にして分かる）などがあります。この五つの神通力は、人間の努力や修行によって、大方の人々が出来るようになるものです。それは皆、低級霊の力を借りてでも出来る程度の神通力で、高級神霊の力の発動とはいえません。

六神通の最後の漏尽通は、人間の努力や修行などで出来るものではなく、神の心を我が心とし、仏の心を己が心とした、神我一体の境地となって初めて可能な至高の神通力です。その最高の神通力を体得する道を、私は一番やさしい方法で、誰にもできるように教えているのです。それが徹底した“消えてゆく姿で世界平和の祈り”です。

何もののにも把われずに、把われの想いが出ても消えてゆく姿と観て、どんな想いもすべて世界平和の祈りの中へ投げ入れてしまう練習をつづけてさえいれば、やがて消えるものがすべて消えさり、最後に残るものは無限絶対なる神のみ心だけです。即ち、漏尽通の神のみ心だけになるのです。

私の教えはまことに平凡で、やさしいように思われますが、実は人類が持てる最高の神通力を開発する最高のやり方なのです。神は必要なものは、その人の必要に応じて、必ず与えて下さります。漏尽通を得れば、必要に応じて他の五神通は、自由自在に使えるようになるものです」

ここまでのお話から、私たちが行なう統一行は、柏手と霊笛による浄めを受けることにより、神聖を忘れていたすべての記憶への決め付けや思い込み・こだわりや執着などの“把われ”が薄くなり、それにしたがって、どんどん自分自身のいのちの源に心身が統一してゆき、やがては神聖の波動の全貌を、自

分自身の想念・言動行為に顕わすことができるようになるための、基本的な行であることがわかりま
す。

それでは時間になりますので、一回目の統一を行ないます。世界平和の祈りはすべて、日本語と英語で行ないますので、よろしくお願いいたします。

★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★

* 世界平和の祈り

世界人類が平和でありますように。

日本が平和でありますように。

私たちの天命が完うされますように。

守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

May peace prevail on Earth.

May peace be in our homes and countries.

May our missions be accomplished.

We thank you, Guardian Deities and Guardian Spirits.

★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★

1. 統一行 - 3回目 - 約3分30秒 -

★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★

2. 統一行 - 2回目 - 約3分30秒 -

★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★

3. 統一行 - 3回目 - 約14分 -

★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★

4. 神聖復活の印 - 7回連続 - 1セット -

次は、神聖復活の印です。「はい」の合図で、ご一緒に宣言をしてお組みください。本日は、7回連続を1回行ないます。それでは始めます。はい。

私達は大自然・生きとし生けるもの・人類すべてと一つに結ばれています。

ゆえに私たちをとおして、すべての精神波動と物質波動に神聖が甦ります。

[神聖復活の印を七回連続]

★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★♥☆💙★

以上